

た ま な ん 多摩南ミニ通信

(財) 東京都保健医療公社
多摩南部地域病院
地域医療連携室第81号
平成17年5月発行

多摩北部医療センター開設

本年4月1日、東村山市・清瀬市・東久留米市、西東京市・小平市をはじめとした地域の中核病院として、多摩北部医療センター（東村山市）が開設されました。東京都と東京都医師会の共同出資により設立された東京都保健医療公社が運営する病院です。前身の東京都多摩老人医療センターが18年間に培った高齢者への専門医療の経験を継承しつつ、成人、小児への救急診療、急性期医療にも取り組んでおります。

また、多摩北部医療センターは、東部地域病院、多摩南部地域病院、大久保病院につづき、東京都保健医療公社が運営する「開放型病院」です。（東部・多摩南部地域病院は、「地域医療支援病院」でもあります。）



「開放型病院」の最大の特徴は、紹介患者をかかりつけ医と病院医師とが共同で診療できる点にあります。患者さんにとっては、いわば身近な地域に複数の主治医を持って一貫性のある医療を継続して受けられることとなります。

また、かかりつけ医にとっては、開放型病院が備える高度・高額医療機器を共同利用できることや、病院における診療情報が得られることで、返送後の診療にスムーズにつなげることができます。同時に病院も当該患者に関する情報をかかりつけ医から取得することができ、双方ともより適切な医療を提供することができます。

※ 「地域医療支援病院」では、紹介率等の高さ、かかりつけ医への研修等も求められます。

東京都保健医療公社は、地域医療のシステム化を促進し、包括的・合理的な医療供給体制の確立を図ることなどを目的としており、来年度は、東京都から都立荏原病院の移管を受ける予定です。

今後も都民が必要とする保健医療サービスの提供に努めてまいります。

♪ 「多摩南ミニ通信」をご希望の方は面会受付にお申し出ください。♪

